

凡 例

- 1 本図録は国際日本文化研究センターが株式会社長谷工コーポレーションより助成金を得て1991年度に設置した寄附研究部門「海外日本美術情報」プロジェクト（代表 別役恭子）の報告書の一冊である。
- 2 本巻は1994年度に実施したハンガリー・フェレンツ・ホップ東洋美術館所蔵の日本美術品調査の総合図録である。
- 3 本巻は版画・絵画・陶磁器・漆工・彫刻・根付の六部からなり、最後に付録として古写真を収録した。
 - a) 版画は横長、縦長といった形状別に分類し、各分類ごとに作者の五十音順に配列した。ただし、落款のない作品については「無款」として、各分類の最後に配列した。
 - b) 絵画も版画と同様に形状別に分類し、年代順に配列した。
 - c) 陶磁器・漆工については形態別に分類し、各分類ごとに時代順に配列した。
 - d) 彫刻については先ず仏像を年代順に配し、以下は材質別に分類し、各分類ごとに年代順に配列した。
 - e) 根付については流派別に分類し、各流派ごとに時代順に配列した。
 - f) 付録の古写真については形状別に分類した。
- 4 作品には一図ごとに本書編纂のための作品番号を付けた。
 - a) 一枚ずつ分離して保存されている版画でも、明らかに続物と思われる作品は一図として掲載した。
 - b) 版画の組物、絵画の双幅などは、各図ごとに作品番号を付けた。
- 5 データの記述は、日・英両語を用いた。ただし、寸法については日本語データの欄のみに、所蔵館蔵品番号については英語データ欄のみに記した。
 - a) 版画のデータの配列は、作品番号・作者・シリーズ名・画題・年代・技法・分類・寸法・所蔵館蔵品番号の順とした。
 - b) 版画のデータの内、作者が推定の場合、シリーズ名・画題が仮名の場合は、それぞれを括弧に入れて記した。版画のデータの内、技法・分類については特殊なものについてのみ記した。
 - c) 絵画のデータの配列は、作品番号・作者・画題・形態・材質・年代・寸法・所蔵館蔵品番号の順とした。
 - d) 陶磁器のデータの配列は、作品番号・作品名・窯・年代・寸法・所蔵館蔵品番号の順とした。
 - e) 漆工のデータの配列は、日本語欄は作品番号・作品名・銘・年代・寸法の順、英語欄は作品名・技法・銘・年代・所蔵館蔵品番号の順とした。
 - f) 彫刻のデータの配列は、作品名・材質・銘・年代・寸法・所蔵館蔵品番号の順とした。
 - g) 根付については、各図には作品番号・作品名のみを記し、後ろにデータをまとめた。データの配列は作品番号・銘・流派・作品名・材質・年代・寸法・所蔵館蔵品番号の順とした。
 - h) 寸法の表記は版画・絵画の場合のみ、原則として本紙の縦×横で表した。ただし、版画の続物において、すでに各図が貼り付けられて保存されているような場合は、一図として採寸した。
- 6 巻末に版画の作者別索引を日本語並びに英語で付した。数字は本図録の作品番号である。
- 7 日本語と中国語のローマ字綴は、研究社の新和英辞典とウェイド・ジャイルスシステムに従った。
- 8 掲載写真は当調査班が撮影したものであるが、複写転載に際しては、所蔵者フェレンツ・ホップ東洋美術館の許可を必要とする。